

総合選抜採用試験に関するよくある質問と回答

防衛大学校教務部入学試験課

令和3年7月改訂版

目次

1 出願資格について	
Q 1	どのような人が対象ですか？
Q 2	生徒会で書記(一例)をしていました。出願することはできますか？
Q 3	運動部に所属し、県大会3回戦進出(一例)が最高成績でした。出願することはできますか？
Q 4	今年の春にドイツ語検定3級(一例)を取得しました。出願することはできますか？
Q 5	中学校で生徒会長(一例)を務めていました。これは実績となりますか？
Q 6	高等学校卒業程度認定試験合格者も出願することができますか？
Q 7	高等学校既卒者です。高等学校時代には特に活動をしていませんが、高等学校卒業後に活動実績があれば、出願することはできますか？
Q 8	どのような資格を持っていると有利ですか？
Q 9	過去の合格者は、どのような活動実績で出願したのですか？
Q 10	各種大会等が開催されなかったのですが、出願することはできますか？
2 提出書類について	
Q 1 1	『志願理由書』及び『活動実績報告書』に複数の活動内容を記入してもよいですか？
Q 1 2	『活動実績証明資料』は、どのようなものを提出すればよいですか？
Q 1 3	大会等での成績や資格認定書等の具体的・客観的に活動実績を証明できる資料がない者でも出願できますか？
Q 1 4	姓のみ又は団体名のみが記載された資料は、証明資料になりますか？
Q 1 5	電子媒体の資料を提出してもよいですか？
Q 1 6	活動実績が記載された冊子をそのまま提出してもよいですか？
Q 1 7	外国語の新聞・雑誌記事等を資料として提出してもよいですか？
Q 1 8	『活動実績証明書』を記入してもらう人は、どのような人でなければならないですか？
Q 1 9	『活動実績証明書』を2部以上提出してもよいですか？
Q 2 0	『活動実績証明書』には、どのようなことを記入してもらえばよいですか？
3 第1次試験について	
Q 2 1	第1次試験においては、具体的にはどのような科目がありますか？また、第1次試験の時間割は、どのようになっていますか？
Q 2 2	『小論文』は、どのような問題が出題されますか？
4 第2次試験について	
Q 2 3	第2次試験の時間割等は、いつ示されるのですか？
Q 2 4	『適応能力試験』は、具体的に何をして、どう評価されるのですか？
Q 2 5	『基礎体力試験』の目的と実施種目は何ですか？
Q 2 6	『基礎体力試験』の合格基準は、スポーツの活動実績で出願した者と、そうでない者との間で、差が設けられるのですか？
Q 2 7	『基礎体力試験』は、全員受験するのですか？
Q 2 8	『基礎体力試験』中に怪我等をした場合は、どうなりますか？
Q 2 9	『問題解決能力試験』とは、例えばどのような課題が出題されるのですか？
Q 3 0	『問題解決能力試験』とは、具体的に何をして、どう評価されるのですか？
5 その他	
Q 3 1	他大学と併願することはできますか？
Q 3 2	他の採用試験での合格者と入校後のカリキュラム等に相違はありますか？
Q 3 3	試験当日発熱した場合、受験はできますか？

総合選抜採用試験に関するよくある質問と回答

1 出願資格について

Q1 どのような人が対象ですか？

(回答)

中学校卒業後から出願に至るまでの期間に、各種活動等に主体的に取り組み、それらの活動を通じて学んだことを防衛大学校に入校してから、更には幹部自衛官になった時に活かそうとする強い意志を持つ人物が対象となります。

なお、各種活動等には以下の様なものが該当します。

- ①地域活動またはボランティア活動等
- ②スポーツ、文化活動等（部活動可）
- ③語学、情報処理及びその他各種検定等での資格取得
- ④数学オリンピック、物理チャレンジ、化学グランプリ及び地理オリンピック等
- ⑤生徒会活動、学級委員等

ただし、第2次試験受験時に『志願理由書』、『活動実績報告書』並びに活動実績を客観的に証明することのできる『活動実績証明資料』（任意での提出）、活動等を指導・観察した人(※注)によって記入された『活動実績証明書』を提出していただきます。書類が提出できない場合や、第2次試験受験時に持参しなかった場合には、第2次試験を受験することはできませんので、ご注意ください。

提出された書類が要件を満たしていない場合には、不合格となることがあります。

また、提出された書類に不正があった場合には、採用を取り消すことがあります。

※注：活動等の期間に対し、指導・観察した期間が極端に短い人、受験者の3親等以内の親族（父母、祖父母、曾祖父母、兄弟姉妹、伯叔父母、甥姪）、未成年者等は証明者になることができません。

Q2 生徒会で書記（一例）をしていました。出願することはできますか？

(回答)

活動実績に関する基準は一切設けていないため、出願できます。

また、生徒会長や生徒会の役員でなくても、積極的に活動に参加し、生徒会活動を活性化した等の実績があれば出願できます。

Q 3 運動部に所属し、県大会 3 回戦進出（一例）が最高成績でした。出願することはできますか？

(回答)

活動実績に関する基準は一切設けていないため、出願できます。

例えば、これまで 2 回戦進出が最高だったものが、努力の結果 3 回戦進出を果たしたのであれば、それは活動実績としての評価対象になります。

また、県大会優勝の人とベスト 16 で敗退の人がいたとしても、結果に限らず、結果に至る過程において何を学んで、それを今後どう活かすのかという点も重視しますので、必ずしも優勝の人が結果だけで有利になるとは限りません。

Q 4 今年の春にドイツ語検定 3 級（一例）を取得しました。出願することはできますか？

(回答)

活動実績に関する基準は一切設けていないため、出願できます(※注)。

※注：留学等、自分で目標を設定して挑戦し、達成したのであれば、活動実績としての評価対象になりますが、帰国子女の方等が、滞在国において自然と身に付けた語学力を活用して、当該外国語の資格等を取得した場合には、実績として認められない場合があります。

Q 5 中学校で生徒会長（一例）を務めていました。これは実績となりますか？

(回答)

活動内容として認められるのは、中学校卒業後の活動等です。

中学校時代の活動等は実績として認められませんので、ご注意ください。

※ 補足事項

中等教育学校卒業の方は、高等学校に相当する 4 年生から 6 年生の期間の活動等が実績となります。

Q 6 高等学校卒業程度認定試験合格者も出願することができますか？

(回答)

高等学校卒業程度認定試験合格者で、中学校卒業後から出願するまでの間に、何らかの活動等に積極的に取り組んだ人であれば、出願できます。

Q 7 高等学校既卒者です。高等学校時代には特に活動していませんが、高等学校卒業後に活動実績があれば、出願することはできますか？

(回答)

高等学校時代に特に活動等をしていなくても、高等学校卒業後に活動実績がある人は、出願できます。

※ 補足事項

高等学校時代に活動実績がある人は、高等学校卒業後に活動等を辞めてしまった場合でも、出願できます。

Q 8 どのような資格を持っていると有利ですか？

(回答)

資格の種類による有利・不利や、特定の資格に対する優遇はありません。

※ 参考事項

重視されるのは、結果に至る努力の過程と、そこで得た経験等を今後どのように活かしてしていくか、という点です。

Q 9 過去の合格者は、どのような活動実績で出願したのですか？

(回答)

過去の合格者の活動実績には、以下の様なものがありました。

分 類	活 動 名	活動実績、活動内容
文化部	演劇部	主役、県大会ベスト8
文化部	吹奏楽部	部員、県大会銅賞
文化部	囲碁部	全国大会団体戦11位
運動部	ハンドボール部	キャプテン、県大会準優勝
運動部	サッカー部	控え選手、全国大会県予選出場
運動部	野球部	内野手、県大会ベスト8
校内活動	図書委員会	委員長、校内誌の発行
校内活動	生徒会	副会長
校外活動	ボランティア	熊本震災ボランティア
校外活動	ボーイスカウト	ベンチャー章取得

※ 補足事項

全国大会優勝のような、際立って顕著な実績しか出願資格に該当しないということはありません。

実績の優劣を要件としているのではなく、活動を通じて学んだことを、防衛大学校に入校した後、更には幹部自衛官となった後も、活かそうという意志と可能性が重視されます。

Q 10 各種大会等が開催されなかったのですが、出願することはできますか？

(回答)

出願できます。

新型コロナウイルス感染症等の影響により各種大会が開催中止や延期となり、第2次試験時まで活動の証明として各種大会等の結果を提出できない場合は、日頃の部活動等での役割や活動内容を第三者（顧問の先生等）に記入してもらうことにより、活動実績とすることができます。

資格試験や検定等が中止や延期になった場合も同様になります。

※ 参考事項

重視されるのは、結果に至る努力の過程と、そこで得た経験等を今後どのように活かしていくか、という点です。

2 提出書類について

Q 1 1 『志願理由書』及び『活動実績報告書』に複数の活動内容を記入してもよいですか？

(回答)

複数の活動等に取り組んだ人は、各々の活動等について記入してもかまいません。

ただし、記入した全ての活動等について、それぞれの活動実績を客観的に証明することができる『活動実績証明資料』（任意での提出）と、活動等を指導・観察した人(※注)によって記入された『活動実績証明書』の提出が必要となります。

※注：活動等の期間に対し、指導・観察した期間が極端に短い人、受験者の3親等以内の親族（父母、祖父母、曾祖父母、兄弟姉妹、伯叔父母、甥姪）、未成年者等は証明者になることができません。

Q 1 2 『活動実績証明資料』は、どのようなものを提出すればよいですか？

(回答)

『活動実績報告書』に記入した活動が、本当に受験者本人の活動であることを客観的に証明できる資料（各種証明書、表彰状・賞状又は新聞・雑誌記事等）(※注)を提出してください。

その際、原則として受験者本人のフルネームが明記された紙媒体（印刷物やホームページ等からプリントアウトしたもの等）の資料を提出してください。

新聞・雑誌記事等を提出する場合には、努めて新聞名、雑誌名及び掲載年月日、掲載号等が明示された資料を準備してください。これらがあまりにも不明瞭である場合、資料として認められない場合があります。氏名記載箇所はラインマーカー等でマークしてください。

また、ホームページ等からプリントアウトした資料を提出する場合には、極力、報道機関や公的団体等のホームページ等のアドレスが明示された資料を準備し、ラインマーカー等で氏名記載箇所をマークしてください。

受験者の所属する学校（卒業した学校を含む。）等のホームページ等からプリントアウトしたものでも、証明資料として認められますが、可能であれば、報道機関や公的団体等のホームページ等客観性の高い資料を提出してください。

なお、資料の客観性を確保するため、受験者本人及びその親族、友人等の作成したホームページ等からプリントアウトしたものは、証明資料とは認められませんので、ご了承願います。

※注：『活動実績報告書』に記載した活動と無関係の資料の提出は認めません。

また、提出された資料は返却できませんので、原本等が必要な場合には、コピー等を提出してください。

なお、提出された資料に不正があった場合には、採用を取り消すことがあります。『活動実績証明資料』の提出は任意となりますが、活動実績を証明する資料がある場合は、提出してください。

Q 1 3 大会での成績や資格認定書等の具体的・客観的に活動実績を証明できる資料がない者でも出願できますか？

(回答)

出願できます。

『活動実績証明資料』は任意での提出となります。

『活動実績証明資料』が用意できなかったとしても、それだけで必ずしも不利になるとは限りません。

Q 1 4 姓のみ又は団体名のみが記載された資料は、証明資料になりますか？

(回答)

姓のみ又は団体名のみが記載された資料だけでは、受験者本人の活動であるかどうか判断できないため、原則、証明資料として認めません。

しかし、フルネームが記載されている参加大会等の選手名簿、パンフレット等を添付したり、『活動実績証明書』の所見欄へ「本人であることの証明」を記入してもらう等の補足をすれば、証明資料とすることができます。

Q 1 5 電子媒体の資料を提出してもよいですか？

(回答)

資料は、必ず紙媒体（印刷物やホームページ等からプリントアウトしたもの等）で提出してください。USBメモリ・CD・DVD等の磁気・電子媒体による動画等の提出は認めません。

Q 1 6 活動実績が記載された冊子をそのまま提出してもよいですか？

(回答)

冊子をそのまま提出していただいても結構ですが、必ず、付箋等で氏名等が掲載されているページを明らかにし、ラインマーカー等で氏名記載箇所をマークしてください。

ただし、提出された資料は返却できませんので、原本等が必要な場合には、コピー等を提出してください。

Q 1 7 外国語の新聞・雑誌記事等を資料として提出してもよいですか？

(回答)

外国語の新聞・雑誌記事等に限らず、外国語で記載された資料を提出していただいても結構ですが、必ず和訳文を添付してください。

**Q 1 8 『活動実績証明書』を記入してもらう人は、どのような人でなければならない
ですか？**

(回答)

『活動実績証明書』に記入する証明者は、活動等を指導・観察した人が対象になります。主として学校の部活動の監督や顧問、所属する団体の指導者、ボランティアや各種活動の指導に当たった人が想定されますが、受験者の活動を責任をもって証明していただける人(※注)であれば、どなたでも結構です。

※注：活動等の期間に対し、指導・観察した期間が極端に短い人、受験者の3親等以内の親族（父母、祖父母、曾祖父母、兄弟姉妹、伯叔父母、甥姪）、未成年者等は証明者になることができません。

Q 1 9 『活動実績証明書』を2部以上提出してもよいですか？

(回答)

『活動実績証明書』は、2部以上提出していただいても差し支えありませんが、原則1部提出してください。ただし、複数の活動実績がある場合は1つの活動実績につき、1部必要になります(※注)。

※注：複数の活動実績があり、『活動実績証明書』を2部以上提出する場合、証明者は可能な限り重複しないようにしてください。

Q 2 0 『活動実績証明書』には、どのようなことを記入してもらえばよいですか？

(回答)

『活動実績証明書』には、ありのままの活動等の実績を記入してもらってください。

3 第1次試験について

Q21 第1次試験においては、具体的にはどのような科目がありますか？また、第1次試験の時間割は、どのようになっていますか？

(回答)

	人文・社会科学専攻			理工学専攻			所要時間
	教科	科目	区分	教科	科目	区分	
学力試験	英語	コミュニケーション英語 I・II・III 英語表現I・II	マーク センス	英語	コミュニケーション英語 I・II・III 英語表現I・II	マーク センス	50分
		小論文	記述	数学 ・ 理科	数学I・II・III 数学A・B 物理基礎・物理 化学基礎・化学	マーク センス 及び 記述	60分

理工学専攻の理科については、物理及び化学の両方を受験していただきます。
また、数学Bは「数列」及び「ベクトル」のみ。物理基礎及び物理は「原子」を除きます。
出題範囲は、文部科学省の高等学校学習指導要領に基づいた内容です。
なお、科目は、学習指導要領の表記法に従っています。

Q22 『小論文』は、どのような問題が出題されますか？

(回答)

受験者の読解力や表現力等を問う問題を予定しています。

4 第2次試験について

Q 2 3 第2次試験の時間割等は、いつ示されるのですか？

(回答)

第1次試験合格者に対し、第2次試験の受験案内で示します。

なお、第2次試験は、防衛大学校において2日間で実施し、1日目に『適応能力試験』、『身体検査』及び『基礎体力試験』を、2日目に『問題解決能力試験』及び『口述試験』を実施します。

※ 参考事項

『適応能力試験』については、試験1日目の行動を観察して受験者を評価します。

また、『口述試験』及び『身体検査』については、受験者毎に時間割が異なりますので、細部の時間割については、試験当日に発表いたします。

Q 2 4 『適応能力試験』は、具体的に何をして、どう評価されるのですか？

(回答)

防衛大学校内での集団での作業などを通して、受験者の行動全体を観察し、リーダーシップ及びフォロワーシップ等、集団生活に対する適応性を評価します。

Q 2 5 『基礎体力試験』の目的と実施種目は何ですか？

(回答)

『基礎体力試験』は、幹部自衛官として必要となる基礎的な体力を有しているかを評価することを目的として実施します。実施種目は、『立ち幅跳び、ハンドボール投げ等』です。ただし、今後の状況により、種目の変更・削減を行う場合がありますので、詳しくは第1次試験合格者に対して発送する第2次試験の受験案内でご確認ください。

Q 2 6 『基礎体力試験』の合格基準は、スポーツの活動実績で出願した者と、そうでない者との間で、差が設けられるのですか？

(回答)

受験者の活動実績によって、合格基準に差を設けることはありません。

※ 補足事項

『基礎体力試験』は、幹部自衛官として必要となる基礎的な体力を有しているかを評価することを目的としています。

Q 2 7 『基礎体力試験』は、全員受験するのですか？

(回答)

全員受験していただきます。

総合選抜採用試験は、2日間の試験を通じて、受験者の資質等を多角的・総合的に評価する試験ですので、『基礎体力試験』に限らず、一つでも受験しない試験があれば、不合格となります。

Q 2 8 『基礎体力試験』中に怪我等をした場合は、どうなりますか？

(回答)

試験中に怪我等をした場合には、受験者の自己責任とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

なお、『基礎体力試験』における怪我等が原因で、その後の試験を受験できなかった場合でも、理由の如何に関わらず、試験を棄権したものとさせていただきます。

※ 補足事項

持病や既往症のある方は、受験前に主治医等に『基礎体力試験』の種目（立ち幅跳び、ハンドボール投げ等（※ただし、天候等の状況により、種目を変更する場合があります。））について、相談されることをお勧めします。

試験当日は、『基礎体力試験』を実施する前に、『身体検査』を実施し、健康状態等を確認させていただきます。また、試験の開始時には準備運動を実施し、試験中における怪我等の発生の防止に努めるとともに、万一、怪我等が発生した場合に備え、救護員を配置しています。

持病や既往症のある方及び主治医等から注意事項等があった方は、必ず『身体検査』受検時にその旨を申告してください。

Q 2 9 『問題解決能力試験』とは、例えばどのような課題が出題されるのですか？

(回答)

例えば、「学校行事を企画するリーダーとして、実現までに幾つかの障害があり、関係者の合意を得る必要がある」等の状況を課題として出題します。

Q 3 0 『問題解決能力試験』とは、具体的に何をして、どう評価されるのですか？

(回答)

まず初めに、与えられた課題に対しての問題点及び解決策等を受験者個人毎にまとめてもらいます。その後、グループ（8名程度）で討議をしてもらうことにより、問題発見能力、問題解決能力及び合意形成能力を評価します。

5 その他

Q 3 1 他大学と併願することはできますか？

(回答)

併願できます。

ただし、本採用試験の出願資格は、「合格した場合には、防衛大学校への『入校を確約できる者』」であることを理解した上で、出願してください。

Q 3 2 防衛大学校の他の採用試験（推薦・一般）での合格者と入校後のカリキュラム等に相違はありますか？

(回答)

試験区分による入校後のカリキュラム及び訓練等に違いはありません。

Q 3 3 試験当日発熱した場合、受験はできますか？

(回答)

37.5℃以上の発熱及び咳の症状が確認されるなど、新型コロナウイルスやインフルエンザ等にかかっていることが疑われる受験者には、受験をお断りさせていただく場合がございます。その場合は、後日実施される一般採用試験を受験してください。

※新型コロナウイルス感染症の罹患を否定できない症状の基準

- 1 体温が37.5℃以上である。
- 2 咳が1日以上持続している。
- 3 次の各号のうち2つ以上が該当する場合
 - (1) 咽頭痛
 - (2) 全身倦怠感
 - (3) 頭痛
 - (4) 1日3回以上の下痢
 - (5) 1日3回以上の嘔気又は嘔吐
 - (6) 事前の運動等の明らかな原因のない関節痛又は筋肉痛
 - (7) 味覚異常又は嗅覚異常

総合選抜採用試験 についての詳しいことは、

防衛大学校教務部入学試験課 にお問い合わせください。

TEL 046-841-3810(代表) (内線番号 2153・2087)